

浪江町 タブレットを利用したきずな再生・強化事業(システム設計・開発) プロポーザル審査結果

提案書の目次		評価区分								評価理由
項番	大項目	配点	NECソリューションベータ株式会社	富士通株式会社	株式会社シンク	株式会社東北博報堂	株式会社NTTドコモ	株式会社シーフォービジョン		
1	システム開発の目的及び内容	20	15	16	14	16	0	11	【NEC】	・事業の趣旨や仕様が十分に汲取られた提案であった。また、本事業の背景について、町民の避難状況を含めて、ある程度理解していた。 ・システム開発の考え方については、タブレットに慣れていない町民にも仕えるSNSというコンセプトでの提案であり、きずな再生という点で本事業の目的に合致するが、提案内容からは目的達成のための手段が入力補助にとどまっておき、SNS自体の工夫が少なかったため、標準的な評価とした。
									【富士通】	・事業の趣旨や仕様が十分に汲取られた提案となっていた。また、本事業の背景について、町民の避難状況を含めて、よく理解していた。 ・システム開発の考え方については、町民と一体となって開発するという点が、今回の事業および「町民協働」という浪江町のスローガンとも一致するものであり、高く評価した。
									【シンク】	・事業の趣旨や仕様が十分に汲取られた提案となっていた。ただ、本事業の背景については、既存のSNSとの連携を提案するなど、町民の避難状況を含めて、あまり理解していないと判断した。 ・一方で、システム開発の考え方については、町民と一体となって開発するために二本松に開発拠点を置く点が、今回の事業および「町民協働」という浪江町のスローガンとも一致するものであり、高く評価した。
									【博報堂】	・事業の趣旨や仕様が十分に汲取られた提案となっていた。また、本事業の背景について、町民の避難状況を含めて、よく理解していた。 ・システム開発の考え方については、町民だれもが親しみやすいシステムとしてキャラクター化を提案され、出来るだけ多くの町民に使ってもらうための解決策を提示している点で高く評価した。
									【ドコモ】	・今回の開発背景である、町民との協働しての開発が難しいこと、既存システムの機能を基盤としているため、独自の要素を組み込みづらいこと、また、今回の開発システムの知的財産権がすべて開発事業者側に帰属することなどから、事業の趣旨や仕様を汲み取った提案とは言えず、今回の評価対象外とした。
									【C4】	・事業の趣旨や仕様が、汲み取られた提案となっていた。ただ、本事業の背景については、町民の避難状況を含めて、あまり理解していなかった。 ・システム開発の考え方については、町民の心の距離を近づけるというコンセプトは、きずな再生という本事業の目的に合致しているが、システムは既存の製品を組み合わせで構成され、町の独自の要素を盛り込む余地が少なく、システムの全体像が本事業の目的と合致していないと判断したため評価を下げた。
2	システム開発	65	40	47	40	44	28	35	【NEC】	仕様書記載の機能については、漏れなく企画内容に盛り込まれていた。また、高齢者への配慮として画面操作性に工夫がありその点を評価したが、個別機能については、追加的な提案が少なかった。
									【富士通】	仕様書記載の機能については、漏れなく企画内容に盛り込まれていた。また、全般に機能の詳細まで提案書に記載されており、記載内容から機能が具体的に想像できるものであった。さらに、アーカイブ機能においては、よりよい提案として、代替の写真蓄積機能を提示されるなど、町民が得られる利益まで考えた提案となっていたため高い評価とした。
									【シンク】	仕様書記載の機能については、漏れなく企画内容に盛り込まれていた。また、安価で広く使用されているソフトウェアを積極的に活用している点は評価できたが、個別機能については、追加的な提案が少なかった。
									【博報堂】	仕様書記載の機能については、漏れなく企画内容に盛り込まれていた。また、タブレットをキャラクターに見立てた企画内容とプレゼンテーションは、高く評価した。さらに、高齢者への配慮として、画面操作性に工夫があり評価できた。 一方で、提案があった町独自の放送局立ち上げについては、具体的な運営方法が示されておらず、実現性が低いと判断した。
									【ドコモ】	仕様書記載の機能について、実装しない提案となっていた。また、企画内容は、既存システムの機能説明に終了しており、個別機能について本事業の仕様書を理解していないと判断した。
									【C4】	仕様書記載の機能については、漏れなく企画内容に盛り込まれていた。また、実績のある自社システムを活用した追加提案があったが、当町の状況に則したシステムにまで落とし込めていないと判断した。

浪江町 タブレットを利用したきずな再生・強化事業(システム設計・開発) プロポーザル審査結果

提案書の目次		評価区分								評価理由
項番	大項目	配点	NECソリューションベータ株式会社	富士通株式会社	株式会社シンク	株式会社東北博報堂	株式会社NTTドコモ	株式会社シンフォニーネズインテグレーション		
3	実施体制・スケジュール	120	56	80	73	53	23	56	【NEC】	町民協働での短期反復開発するための最低限の人員、時間が確保されていた。また、操作性向上に関する専門家が体制に入るなど、高齢者への配慮が考慮されていることが高く評価された。一方で、開発手法に対する具体的な提案が少なく、プロジェクトマネージャー、エンジニア、デザイナーに本事業と類似の開発を行った実績が少なく、本事業の実現性が低いと判断した。
									【富士通】	町民協働での短期反復開発するための最低限の人員、時間が確保されていた。また、開発手法についての具体的な提案があったこと、リーダークラスの技術力を高く評価した。さらに、デザインについて、県内事業者を活用していた点や、デザイナーのアプリ開発実績が多くあり、その点も評価できた。
									【シンク】	町民協働での短期反復開発するための人員、時間が十分に確保されていた。また、技術者の体制にも余力があり、町民からの追加要望について柔軟に吸収できると判断した。さらに、県内事業者の積極的な活用や、二本松に町民が自由にアクセスできる開発環境を用意する点は高く評価できた。一方で、開発手法についての具体的な提案が少なく、また、デザイナーに本事業と類似の開発を行った実績が少なく、操作性の高い画面の実現性が低いと判断した。
									【博報堂】	プロジェクト実施体制全体に、稼働時間が少なく、町民協働での短期反復開発するための人員、時間が確保されていないと判断した。また、開発手法についての具体提案が少なく、本事業の実現性が低いと判断した。一方で、組織、技術者として類似の開発実績やデザイン実績が豊富である点は高く評価した。
									【ドコモ】	提案された体制は、既存システム改変のための人員であり、町民協働での短期反復開発するための人員、時間が確保されていないと判断した。また、開発手法においても、町民の要望を柔軟に吸収できるようになっていないため、本事業の実現性が低いと判断した。
									【C4】	町民協働での短期反復開発するための人員、時間が十分に確保されていた。一方で、開発手法についての具体的な提案が少なかった。また、他社に比べて操作性向上に対する知見やデザイナーに本事業と類似の開発を行った実績が少なく、実現性が低いと判断した。
4	経費	60	26	43	55	23	4	21	【NEC】	・初期費用については、アプリケーション開発費用は、平均的であったが、ソフトウェア費用については、高価な商品が選定されており、評価を下げた。また、ハードウェア費用については、提案事業者独自の設備を利用する前提で高価な見積もりとなっていたため、低い評価となった。 ・運用費用については、平均的な価格であったが、提案にあった顔認証ソフトの町民向けの高額なライセンス費用が見積もりに含まれておらず、提案が実現出来ないと判断した。
									【富士通】	・初期費用については、アプリケーション開発費用は比較的高かったものの、ソフトウェア費用、ハードウェア費用が安価に押さえられている点を高く評価した。一方で、一般管理費が、非常に高かったため、この点で評価を下げた。 ・運用費用については、他社と比べて安く高く評価した。
									【シンク】	・初期費用については、アプリケーション開発で人員を多く投入した分、高くなっているものの、ソフトウェア、ハードウェアともに、安価な製品を使い費用を抑えられている点を高く評価した。 ・運用費用については、安価な製品や事業者には縛られない製品を使用しており、費用を抑えられている点を高く評価した。
									【博報堂】	・初期費用については、アプリケーション開発費用、ソフトウェア費用、ハードウェア費用について、他社と比べ安い提案であったが、ハードウェア費用に必要な機器が適切な項目に見積もられていなかったことや、技術者単価が高額であることから、評価を下げた。 ・運用費用については、設備使用料が比較的高価であった。また、企画提案にあった町独自の放送局の運営費が盛り込まれておらず、実現性が低いと判断した。
									【ドコモ】	・初期費用については、既存システムを利用する提案にもかかわらず莫大な初期費用がかかる提案であり、評価を下げた。 ・運用費用については、ソフトウェア使用料が他社にくらべ桁違いに高いことから、事業継続性が極めて低いと判断した。
									【C4】	・初期費用については、既存商品の利用で開発費用を安価に抑えている点は評価できたが、一方で、設備構築費用が非常に高額な提案であったため、評価を下げた。 ・運用費用において、初年度費用が他社に比べて最も高額で、かつ、次年度以降も開発体制を維持する高額な見積もりとなり、事業継続性が低いと判断した。
合計		265	137	186	182	136	55	123		